

# 鳴子温泉

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

**鳴子温泉**（なるこおんせん）は、宮城県（旧国陸奥国、明治以降は陸前国）大崎市鳴子温泉にある温泉。鳴子温泉郷の中心地である。福島県の飯坂温泉、宮城県の秋保温泉とともに奥州三名湯に数えられた。

また、玉造郡旧鳴子町にあたる現在の地名でもある。厳密には「鳴子温泉」という大字があるわけではないが、旧鳴子町の大字「鳴子町（大字）○○」が「大崎市鳴子温泉○○」という大字になっている。

仙台弁をはじめとする東北弁の発音から、「なるこ」と濁音で呼ぶ者も多い。

## 目次

- 泉質
- 温泉街
- 歴史
- アクセス
- こけし（鳴子系）
- 名親
- 舞台となった作品
- 脚注
- 外部リンク

## 泉質

- 硫黄泉
- 芒硝泉
- 石膏泉
- 重曹泉
- 食塩泉
- 酸性泉
- 含鉄泉
- 二酸化炭素泉
- 単純温泉

 鳴子温泉



鳴子公園から見た鳴子温泉の遠景

### 温泉情報

|              |  |
|--------------|--|
| <b>所在地</b>   | <u>宮城県大崎市</u> <u>鳴子温泉</u>  |
| <b>交通</b>    | 鉄道： <u>JR陸羽東線</u> ・ <u>鳴子温泉駅</u> すぐ  |
| <b>泉質</b>    | <u>硫黄泉</u> 、 <u>硫酸塩泉</u> 、 <u>炭酸水素塩泉</u> 、 <u>塩化物泉</u>                               |
| <b>外部リンク</b> | <u>鳴子温泉郷観光協会</u> ( <a href="http://www.naruko.gr.jp/">http://www.naruko.gr.jp/</a> ) |

# 温泉街

鳴子温泉駅前から滝の湯方面ならびに線路や国道47号と平行に温泉街が広がっている。

大型ホテル、旅館や湯治宿などいろいろなタイプの宿が存在する。駅前には足湯や手湯も存在する。

下駄履きで温泉街を歩いて巡る「下駄も鳴子」というキャッチフレーズを打ち出しており、各旅館には宿泊客への貸し出し用の下駄が備えられている。鳴子温泉駅の観光案内所でも町歩き用の下駄を貸し出している。

鳴子こけしの産地としても知られ、温泉街の随所に店や工房が存在する。こけしを作る技術を応用した木工細工を取り扱う店も多くみられる。こけしで有名な温泉地は他にも土湯温泉や遠刈田温泉、肘折温泉などがある。

共同浴場は「滝の湯」、「早稲田栈敷湯」が有名である。

- 滝の湯：温泉神社のお湯を使っており鳴子温泉で最も古い歴史を持つ。滝の湯保存会がこの浴場を管理している。古くは隣に位置し、仙台藩に湯守を命じられたゆさや旅館が管理をしていた。なお、ゆさや旅館はアルカリ性の強い「うなぎ湯」で知られ、源泉は酸性泉である滝の湯のそのすぐ側にある。酸性度、アルカリ性度が強い源泉が近接して湧出している。
- 早稲田栈敷湯：昭和23年に、早稲田大学理工学部土木工学科の7人の学生がボーリングの実習で源泉を掘り当てた。それを利用して造られた共同浴場である。平成8年に改築された。早稲田大学理工学部建築学科の教授石山修武によってデザインされた、共同浴場としては極めて前衛的な内外観が特徴。

## 歴史

- 826年に起きた鳥屋ヶ森山の噴火で、現在の温泉神社より温泉が湧出し始めたのが鳴子温泉の始まりである。
- 源義経と郷御前の子供の産湯に使われたことから「啼き子（なきこ）」と呼ばれ、それが転じて「鳴子」となったという伝承がある。
- 2007年、「旅の手帖」（交通新聞社）による「青春18きっぷで行く温泉番付」で「東の横綱」に認定された。

## アクセス

- 鉄道：JR陸羽東線・鳴子温泉駅すぐ。
- 高速バス：仙台駅前からミヤコーバス・仙台 - 鳴子線で終点・車湯下車。
- 自家用車：東北自動車道古川インターチェンジから国道47号経由。

## こけし（鳴子系）



地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/#9/38.7426/140.7171/>) Google マップ (<https://www.google.co.jp/maps?z=11&ll=38.7426,140.7171&t=h>)

鳴子温泉



共同浴場滝の湯



早稲田栈敷湯

鳴子こけしと呼ばれる宮城県北部を代表する郷土玩具。土湯温泉（福島市）や遠刈田温泉（蔵王町）と並ぶ三大こけし発祥の地である。

鳴子系の特徴は、首が回り音が鳴る。胴体は中ほどが細くなっていき、胴体には菊の花を描くことが多い点である。

## 名親

---

**火星クレーター Naruko（鳴子）**

火星に、鳴子温泉にちなんだクレーターがある。2008年1月に名付けられた。<sup>[1]</sup>

**小惑星 Narukospa（鳴子温泉）**

1997年1月6日に発見された小惑星。公転周期は4年10ヶ月。2009年10月4日付で名付けられた。

## 舞台となった作品

---

### 映画

- やくざ刑事 恐怖の毒ガス - 千葉真一主演による1971年の日本映画。温泉街と鳴子国際スキー場でロケされ、登場人物がこけしを買うシーンも流れている。

## 脚注

---

- ↑ “火星の“鳴子”にも水？ クレーターに流れた跡” (http://www.47news.jp/CN/200907/CN2009070301000950.html). 47NEWS (共同通信). (2009年7月3日)

## 外部リンク

---

- 鳴子温泉郷観光協会 (http://www.naruko.gr.jp/)

---

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=鳴子温泉&oldid=72244799」から取得

---

**最終更新 2019年4月3日 (水) 12:50**（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。